

令和3年度（2021年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

D 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和3年度（2021年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題に解答せよ

問題1（15点）

非公開株式会社P社の発行済株式は、Aによって60%を、Bによって40%を保有されていた。また、P社代表取締役はAが、P社取締役はBとC（Aの弟）とが務めていた。

令和2年3月10日にAが死亡した。Aの法定相続人は、妻D（法定相続分4分の3）、Aの兄弟C・E（法定相続分各8分の1ずつ）の3名であった。DとC・Eとの間で対立が生じ、遺産分割協議は整わず、P社に対しては相続に関連して何の通知もなされなかった。

令和2年6月末に開催されたP社定時株主総会において、C主導のもと新たにEを取締役として選任する決議がなされた。P社の登記を見てEの選任を知ったDは、当該総会決議の効力を否定するために株主総会決議取消訴訟（会社法831条1項）を提起することとした。

このようなDの請求は認められるか。

問題2（10点）

法人格否認の法理について、8行程度で説明せよ。